

アオモンイトトンボ



交尾中のペア(上がオスで下がメス いずれも成熟した個体)

【体長】 30～35mm

【特徴】 オスの腹の先には青色の紋が目立ちます。メスは未成熟の時はオレンジ色をしていますが、成熟すると茶色っぽい色になります。メスはオスのような体色をしたものもいます。

【見られる場所】 いろいろな水辺で見られますが、特に浅い水辺(レンコン田・田んぼ・ビオトープなど)でよく見られます。産卵は水面や水辺にある植物につかまって卵を産みます。

【見られる時期】 5～10月頃

【名前の由来】 「青い紋のある糸トンボ」の意味

クロイトトンボ



産卵を行うペア(前がオスで後ろがメス いずれも成熟した個体)

【体長】 27～37mm

【特徴】 「黒糸トンボ」という名前ですが、それほど黒くはなく、オスは青白く、メスは黄緑色をしています。メスはオスのような体色をしたものもいます。

【見られる場所】 水路などの少し水深がある場所を好みます。産卵はオスとメスがつながった状態で、水面や水辺にある植物につかまって卵を産みます(メスが単独で産む場合もあります)。

【見られる時期】 5～10月頃

【名前の由来】 「黒糸トンボ」の意味